

住宅の省エネルギー基準及び低炭素建築物の認定基準における
設計一次エネルギー消費量算定方法の変更について

平成 27 年 10 月 2 日

第三章「暖冷房負荷と外皮性能」第一節「全般」の一部を下記のように変更します。

Ver.04 (住宅・住戸の省エネルギー性能の判定プログラム Ver.01.14)	Ver.05 (住宅・住戸の省エネルギー性能の判定プログラム Ver.01.15)
<p>第三章 暖冷房負荷と外皮性能 第一節 全般 (略) 7. 標準住戸の負荷補正前の暖冷房負荷 7.1 標準住戸の負荷補正前の暖房負荷 (略) <式(7)変更> $L'_{H,R,d,t,i} = (1 - r_{TS}) \times L'_{H,R,TS_0,d,t,i} + r_{TS} \times L'_{H,R,TS_1,d,t,i} \quad (7)$ ここで、 $L'_{H,R,TS_l,d,t,i}$: 日付<i>d</i>の時刻<i>t</i>における暖冷房区画<i>i</i>の蓄熱の利用の程度<i>TS_l</i>の標準住戸の負荷補正前の暖房負荷 (MJ/h) r_{TS} : 蓄熱の利用の程度を表す係数 <u>(追加)</u> である。 (略) 7.2 標準住戸の負荷補正前の冷房負荷 (略) <式(10a)変更></p>	<p>第三章 暖冷房負荷と外皮性能 第一節 全般 (略) 7. 標準住戸の負荷補正前の暖冷房負荷 7.1 標準住戸の負荷補正前の暖房負荷 (略) <式(7)変更> $L'_{H,R,d,t,i} = \{(1 - r_{TS}) \times L'_{H,R,TS_0,d,t,i} + r_{TS} \times L'_{H,R,TS_1,d,t,i}\} - \Delta L'_{H,uf,R,d,t,i} \quad (7)$ ここで、 $L'_{H,R,TS_l,d,t,i}$: 日付<i>d</i>の時刻<i>t</i>における暖冷房区画<i>i</i>の蓄熱の利用の程度<i>TS_l</i>の標準住戸の負荷補正前の暖房負荷 (MJ/h) r_{TS} : 蓄熱の利用の程度を表す係数 <u>$\Delta L'_{H,uf,R,d,t,i}$: 日付<i>d</i>の時刻<i>t</i>における暖冷房区画<i>i</i>の標準住戸の床下空間を經由して外気を導入する換気方式による暖房負荷削減量 (MJ/h)</u> である。 (略) 7.2 標準住戸の負荷補正前の冷房負荷 (略) <式(10a)変更></p>

$$L'_{CS,R,d,t,i} = \begin{cases} \frac{(NV-NV_2)}{NV_1-NV_2} \times L'_{CS,R,NV_1,d,t,i} + \frac{(NV-NV_1)}{NV_2-NV_1} \times L'_{CS,R,NV_2,d,t,i} & (NV < NV_2 \text{ の場合}) \\ \frac{(NV-NV_3)}{NV_2-NV_3} \times L'_{CS,R,NV_2,d,t,i} + \frac{(NV-NV_2)}{NV_3-NV_2} \times L'_{CS,R,NV_3,d,t,i} & (NV_2 \leq NV \text{ の場合}) \end{cases} \quad (10a)$$

(式 10b 略)

ここで、

NV : 通風の利用における相当換気回数 (1/h)

NV_1 : 通風の利用に関する区分1の通風の利用における相当換気回数 (1/h)

$L'_{CS,R,NV_1,d,t,i}$: 日付 d の時刻 t における暖冷房区画 i の通風の利用における相当換気回数 NV_1 の標準住戸の負荷補正前の冷房顕熱負荷 (MJ/h)

$L'_{CL,R,NV_1,d,t,i}$: 日付 d の時刻 t における暖冷房区画 i の通風の利用における相当換気回数 NV_1 の標準住戸の負荷補正前の冷房潜熱負荷 (MJ/h)

(追記)

である。

(略)

付録 A 熱交換型換気設備

(略)

A.3 有効換気量率による温度交換効率の補正係数

有効換気量率による温度交換効率の補正係数 C_{eff} は、式(2)により表される値とし、100分の1未満の端数を切り下げた小数第二位までの値とする。

(略)

(付録 D 追加)

$$L'_{CS,R,d,t,i} = \begin{cases} \left(\frac{NV-NV_2}{NV_1-NV_2} \times L'_{CS,R,NV_1,d,t,i} + \frac{NV-NV_1}{NV_2-NV_1} \times L'_{CS,R,NV_2,d,t,i} \right) - \Delta L'_{CS,uf,R,d,t,i} & (NV < NV_2 \text{ の場合}) \\ \left(\frac{NV-NV_3}{NV_2-NV_3} \times L'_{CS,R,NV_2,d,t,i} + \frac{NV-NV_2}{NV_3-NV_2} \times L'_{CS,R,NV_3,d,t,i} \right) - \Delta L'_{CS,uf,R,d,t,i} & (NV_2 \leq NV \text{ の場合}) \end{cases} \quad (10a)$$

(式 10b 略)

ここで、

NV : 通風の利用における相当換気回数 (1/h)

NV_1 : 通風の利用に関する区分1の通風の利用における相当換気回数 (1/h)

$L'_{CS,R,NV_1,d,t,i}$: 日付 d の時刻 t における暖冷房区画 i の通風の利用における相当換気回数 NV_1 の標準住戸の負荷補正前の冷房顕熱負荷 (MJ/h)

$L'_{CL,R,NV_1,d,t,i}$: 日付 d の時刻 t における暖冷房区画 i の通風の利用における相当換気回数 NV_1 の標準住戸の負荷補正前の冷房潜熱負荷 (MJ/h)

$\Delta L'_{CS,uf,R,d,t,i}$: 日付 d の時刻 t における暖冷房区画 i の標準住戸の床下空間を經由して外気を導入する換気方式による冷房顕熱負荷削減量 (MJ/h)

である。

(略)

付録 A 熱交換型換気設備

(略)

A.3 有効換気量率による温度交換効率の補正係数

有効換気量率による温度交換効率の補正係数 C_{eff} は、式(2)により表される値とし、100分の1未満の端数を切り下げた小数第二位までの値とする。有効換気量率による温度交換効率の補正係数 C_{eff} が0未満の値となる場合は、有効換気量率による温度交換効率の補正係数 C_{eff} は0に等しいとする。

(略)

付録 D 床下空間を經由して外気を導入する換気方式

(以下、略)